

事業所名

児童発達支援センター バンビ

支援プログラム (参考様式)

作成日

7年

2月

14日

法人(事業所)理念		・私たちは、利用者およびその家族の意向を尊重して、多様な福祉・医療サービスが総合的に提供されるように創意工夫し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、地域社会の中で健やかに育成されるよう支援する。 ・どんな難病・障害があっても利用者が生きて、生きることを保証する。					
支援方針		・関係法令を遵守し、個別医支援計画に基づき多職種ワンチームで利用者一人一人を大切に					
営業時間		8時	0分	17時	15分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・呼吸、摂食、排泄など基本的な生活習慣の土台を作り、子ども達が楽しく通えるように支援する ・併設する医療機関との連携(緊急対応・リハビリ)					
	運動・感覚	保育・小集団活動を通して、触覚、嗅覚、視聴覚等感覚入力し、児の興味関心の幅を広げ、外界への探索を促進する 児の発達段階に合わせて、首のすわり、寝返り、座位、歩行など運動発達を促す支援に取り組む					
	認知・行動	保育や小集団活動を通し、ボディイメージや外界への環境・物事の弁別能力を促進するプログラムを行う 様々な活動を通して、適切な行動の習慣化を図る					
	言語 コミュニケーション	保育や小集団活動を通して、児の実態に合わせて、表情や身振り、音声言語、絵カード等でコミュニケーションを図り、かかわる楽しさを積み重ねていくまた、援助要求の手段を獲得することやことばの理解やコミュニケーション手段の拡大を図る					
	人間関係 社会性	遊びや日々の活動を通して、大人や子ども同士のやりとりを形成し、仲間と楽しく過ごす経験を広げ、社会性を伸ばしていく					
家族支援		日々の困り感、子育ての悩みについて、その都度職員が話を聞く体制をとり、必要に応じて適切な人、機関につなげる			移行支援	併用通園、移行先等との情報共有・申し送りを設定する。	
地域支援・地域連携		協力病院外来リハビリ、訪問看護・診療・リハとの情報共有、連携を図る 中部病院病院等、主治医との情報共有会議を定期的に行い支援の連携を図る			職員の質の向上	保育士研修を年間を通して設定 外部講師を招へいしての勉強会の開催	
主な行事等		親子レク、保護者参加保育、運動会、おゆうぎ会、保護者勉強会、がんばろう会(卒園の会)、誕生会(毎月)、季節の行事(豆まき、ひな祭り、子どもの日、ハロウィン、クリスマス)					